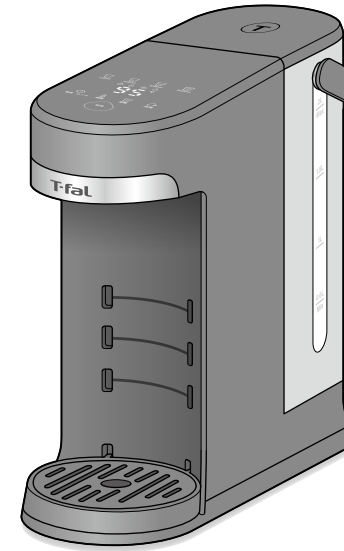


ティファール 瞬間湯沸かしケトル

## Vitesse

ヴィテス 2.0L

製品番号 BR3508J0



キリリ線

Ref no. 1520016450-03

### 株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様  
相談センター



**0570-077772**

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文  
センター



**0570-086072**

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

※ 商品により部品としての取り扱いのない場合がございます。

### はじめに

- 安全上のご注意…………… 2
- 使用上のお願い…………… 4
- 各部の名称…………… 5

### 使い方

- ご使用前に…………… 7
- 使い方…………… 10
- 使い終わったら…………… 13

### その他

- お手入れの方法…………… 14
- 故障かなと思ったら…………… 16
- 保管について…………… 16
- 製品仕様…………… 17

● お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。  
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。  
誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

## 絵表示の例



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が表記されています。

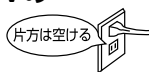


**警告** 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

## 電源・電源コード



**指示** 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する



他の機器と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。  
● 延長コードも定格15Aのものを単独でお使いください。

電源プラグや電源コードに損傷があるとき、または使用中に異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。

異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。

電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない

そのまま使うと、感電、ショートや発火するおそれがあります。



**指示** 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

● 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



**禁止** ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



電源プラグや電源コードを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

## お取り扱いについて



分解禁止

**修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しない**

発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。



禁止

**本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったりしない**

湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

**水につけない**

感電・ショート・火災、故障の原因になります。

**製品を転倒させない**

湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

**水タンクにMaxラインより多くの水を入れて、使用しない**

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

**給湯口や蒸気が出るところに触れたり、顔を近づけたりしない**

やけど・けがをするおそれがあります。



禁止

**本体接続部や電源プラグをなめさせない**

感電やけがのおそれがあります。特に乳幼児には触らせないでください。

**直火（ガス台などや電気ヒーター）、電磁調理器（IH）、電子レンジなどに使わない**

火災・熱変色・変形・故障の原因になります。

**子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない**

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

**安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）には、単独で使用させない。また、製品で子供が遊ばないように注意する**

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

**水以外の液体を入れたり、沸かしたりしない**

泡立ちが起こり、内容物がふき出して、やけどをするおそれがあります。



**注意** 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

## 電源・電源コード



コンセントからはずす

**使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く**

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指示

**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く**

感電したりショートしたりして、発火するおそれがあります。

## お取り扱いについて



指示

**コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、電源コードをひっかかないよう気をつける**

本体が落下し、やけどやけがをするおそれがあります。



指示

**お手入れは各部分が十分に冷えてからおこなう**

熱いうちに高温部に触れると、やけどの原因になります。

## 安全上のご注意 (続き)

**指示** 動かす際は、電源プラグを抜いてから本体を持って移動する  
転倒・破損・故障の原因になります。

**禁止** 沸かし中は、移動させない  
湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。

**ガラス窓の近くで使用しない**  
ヒビが入ったり割れることがあります。

**壁や家具の近くで使わない**  
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

**不安定な場所や、熱に弱い敷物の上、可燃物の近く（カーテンの近くなど）では使わない**  
火災の原因になったり、けがややけどをするおそれがあります。

**使用時に製品を移動させない**  
水がこぼれ、やけどの原因になります。

**禁止** 電源コードを給湯口などの高温部に触れさせない  
火災や故障の原因になります。

**本製品の蒸気が他の電気機器に当たるような場所で使用しない**  
電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

**キャビネットの中、または壁や家具の近くで使用しない**  
蒸気または熱で家具を傷め、変色・変形の原因になります。

**ストーブやガスコンロなど熱源のそばや直射日光が当たる場所では使わない**  
本体のプラスチック部分が熱で損傷し、けがややけどをするおそれがあります。

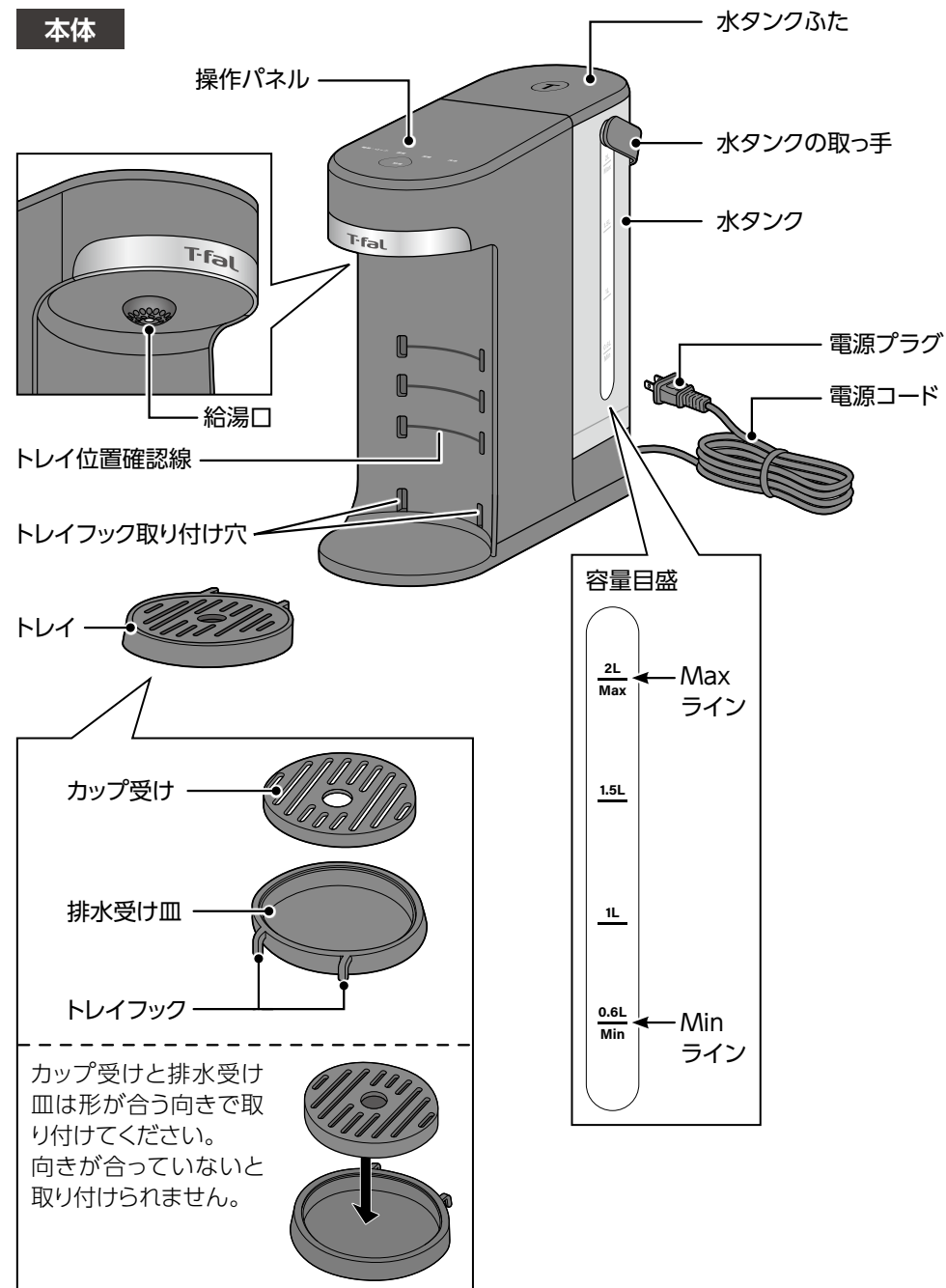
**取扱説明書に記載されていない目的・方法で使用しない**  
けがや事故の原因になります。

**使用中は本製品のそばを離れない**  
事故の原因になります。

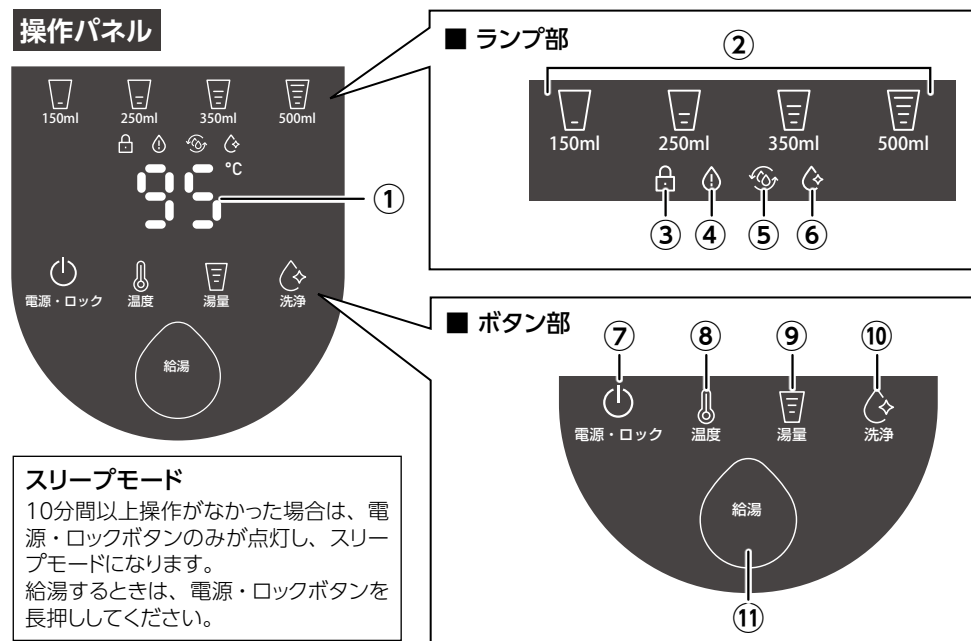
## 使用上のお願い

- 本製品は一般家庭用です。業務用または一般家庭以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます  
取扱説明書の指示に反する使用の例：  
・レストランやカフェなどの商業用キッチン ・ビジネスオフィス、食堂  
・ホテル、民宿などの宿泊施設
- 水質改善材・浄化材（備長炭）など、水以外のものを水タンクの中に入れてください  
故障の原因になります。
- 本製品は湯沸かし専用にお使いください
- 本製品は必ず屋内で使用してください
- 直射日光が当たる場所への本製品の設置、ご使用はお控えください  
故障の原因になります。
- 標高2000m以下の場所で使用してください。標高の高い場所、厳寒地などでは所定の性能が発揮できない場合があります

## 各部の名称



## 各部の名称 (続き)



### スリープモード

10分以上操作がなかった場合は、電源・ロックボタンのみが点灯し、スリープモードになります。給湯するときは、電源・ロックボタンを長押ししてください。

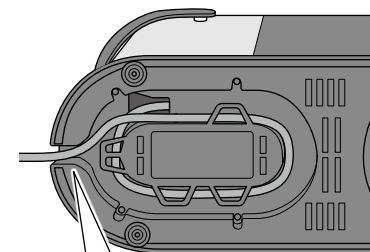
① ディスプレイ	お湯の設定温度などが表示されます。
② 湯量ランプ	設定された湯量のランプが点灯します。(→12ページ)
③ ロックランプ	ロック状態のときに点灯します。
④ 水切れランプ	水タンク内の水が少ないときや水タンクが取り付けられていないときに点灯します。
⑤ 排水ランプ	内部排水が必要になったときに点灯します。(→10ページ)
⑥ 洗浄ランプ	内部洗浄が必要になったとき、または強制内部洗浄モードのときに点灯します。(→14ページ)
⑦ 電源・ロックボタン	給湯するときに長押ししてロックを解除します。給湯後、再度ロックするときは1回押します。30秒間操作がなかったときは、自動的にロックされます。
⑧ 温度設定ボタン	お湯の温度を設定します。(→11ページ) 70℃・75℃・80℃・85℃・90℃・95℃から選択できます。
⑨ 湯量設定ボタン	お湯の量を設定します。(→12ページ) 150ml・250ml・350ml・500ml・手動湯量調整(湯量設定なし)から選択できます。
⑩ 洗浄ボタン	長押しすると、強制内部洗浄モードになります。(→14ページ)
⑪ 給湯ボタン	押すと、給湯を開始します。長押しすると、内部排水モードになります。(→10ページ)

## ご使用の前に

### 1 本体を設置します。

本製品を個装箱から取り出し、梱包材などを外してから設置します。

- 熱と水に強い、清潔で平らな場所に設置してください。
- 電源コードは本体の裏側に巻きつけて長さを調節し、切り込みに確実にセットしてください。コードリールではありませんので、電源コードを引っ張って長さを調節することはできません。



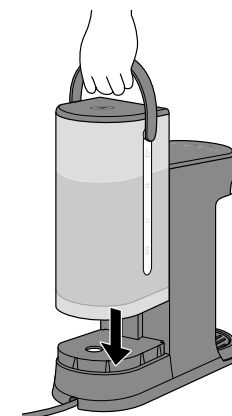
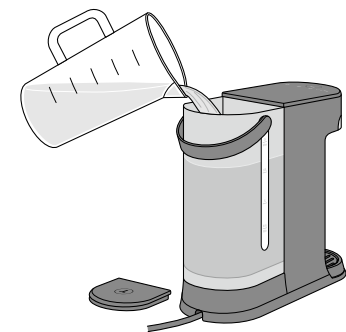
切り込みにセットする

### 2 水タンクに給水し、本体にセットします。

給水後は必ずふたを閉めてください。

- Minライン(600ml)以上の水を入れてご使用ください。使用中に水量がMinラインよりも少なくなると、水切れランプが点灯し、給湯できなくなります。

本体に給水タンクを取り付けたまま、ポットなどを使用して給水することもできます。



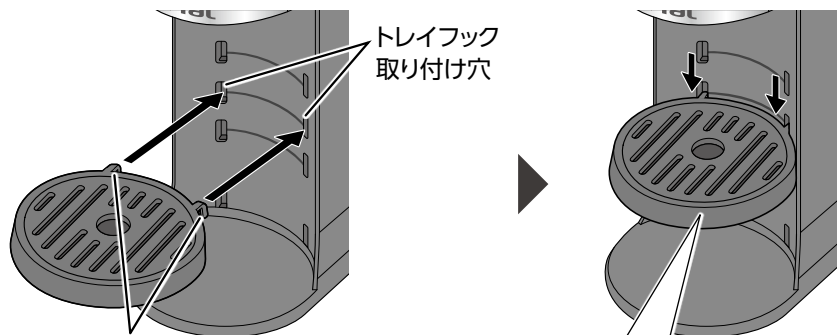
**注意** 容量目盛のMaxライン(2000ml)を超えて水を入れしないでください。やけど・感電・けがをするおそれがあります。

### お願い

- 水タンクには水以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- 水タンクには常温の水を入れてください。お湯や冷水を入れると、所定の性能が発揮できない場合があります。
- 水が入った水タンクが本体に取り付けられていない場合、操作パネルのボタンを操作できません。水が入った水タンクを本体に取り付けてからご使用ください。

### 3 使用するカップの高さに合わせて、本体にトレイを取り付けます。

トレイフック取り付け穴にトレイフックをしっかりと差し込み、少し下にずらして固定します。

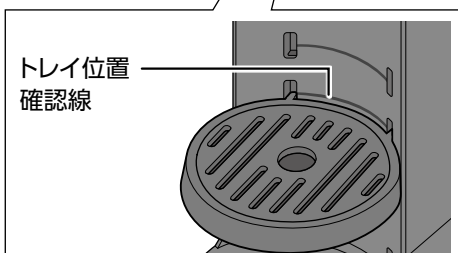


トレイフック

トレイフック  
取り付け穴

#### ⚠ 注意

トレイフックは根元まで確実に差し込んでください。



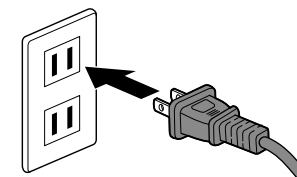
トレイ位置  
確認線

トレイに対して、トレイ位置確認線が水平に見えるように取り付けてください。

- トレイを取り付ける位置 (トレイフックを差し込む位置) は、使用するカップの高さに合わせて調整してください。カップと給湯口を近づけることで、給湯時にお湯が飛び散りにくくなります。



### 4 電源プラグをコンセントに差し込みます。



操作パネルが点灯して「ピー」と音が鳴ります。その後、電源・ロックボタン、ロックランプ、排水ランプが点灯します。

※ 通電直後はロック状態になっています。

#### ⚠ 注意

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。

他の機器と併用すると、発熱による火災、故障の原因になります。



### 本製品をはじめてお使いになるときは

初めてのご使用前に、以下の手順でクリーニングを行ってください。

- ① 容量250ml以上の耐熱性カップを用意し、カップの高さに合わせてトレイの位置を調整したうえで、カップをトレイの上に置きます。
- ② 水タンクに水を入れます。
- ③ ロックボタンを長押しして、ロックを解除します。
- ④ 給湯ボタンを長押しします。  
ディスプレイに「95℃」と表示されて「250ml」の湯量ランプが点灯します。
- ⑤ 給湯ボタンを押して、クリーニングを開始します。  
給湯口からお湯が出てきます。
- ⑥ カップに溜まったお湯を捨てます。
- ⑦ 上記手順④～⑥を2～3回、繰り返します。

#### お知らせ

本製品は、工場出荷前に水を入れて検品をしております。

まれに、本体内に白い跡が残っていることがございますが、検品時の水の跡ですので、上記の手順でクリーニングを行った後、安心してお使いいただけます。

## 前回の使用時から24時間以上経っている場合、「内部排水」を行ってください

電源プラグをコンセントに差し込むと、排水ランプが点灯します。

以下の手順で、製品内部に残っている水を排出してください。  
(内部排水を行わずに製品を使用することもできます)

- 電源プラグをコンセントに差し込んだまま本製品を24時間以上使わなかった場合も、排水ランプが点灯します。製品内部に水が残ったままにしておくと雑菌が繁殖するおそれがありますので、必ず以下の手順で内部排水を行ってください。



- ① 水タンクに残っている水を捨てて、水タンク内を水洗いします。
- ② 水タンクにMinライン（600ml）以上の水を入れます。
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ④ 容量250ml以上の耐熱性カップをトレイの上に置きます。
- ⑤ 電源・ロックボタンを長押しして、ロックを解除します。
- ⑥ 給湯ボタンを長押しして、内部排水モードに入ります。ディスプレイに「95℃」と表示されて「250ml」の湯量ランプが点灯します。
- ⑦ 給湯ボタンを押して、内部排水を開始します。内部排水が完了すると「ピー」と音が鳴り、排水ランプが消灯します。
- ⑧ カップを取り出し、排出されたお湯を捨てます。
- ⑨ 排水受け皿に残った水を捨てます。

## 1 トレイの上にカップを置きます。

8ページを参照し、トレイをしっかりと取り付けたいうえで、カップをトレイの上に置きます。

- カップがトレイの上に水平に載っているかを確認してください。



**注意**

操作パネルを操作する前に、必ずトレイとカップをセットしてください。

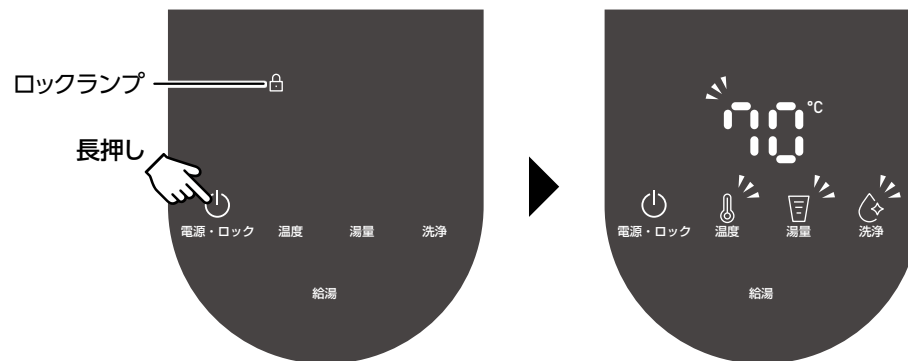


## 使用するカップについて

- 希望の湯量に合わせて、十分な容量のカップをご使用ください。
- トレイからはみ出ないように、トレイの直径より小さいカップをご使用ください。
- トレイの直径や取り付け位置に対してサイズの大きいカップを無理に使用しないでください。より小さいカップを使うか、トレイの位置を調整してください。
- 給湯後のカップが大変熱くなる場合もありますので、取っ手がついているカップのご使用をお勧めします。

## 2 電源・ロックボタン（) を長押しして、ロックを解除します。

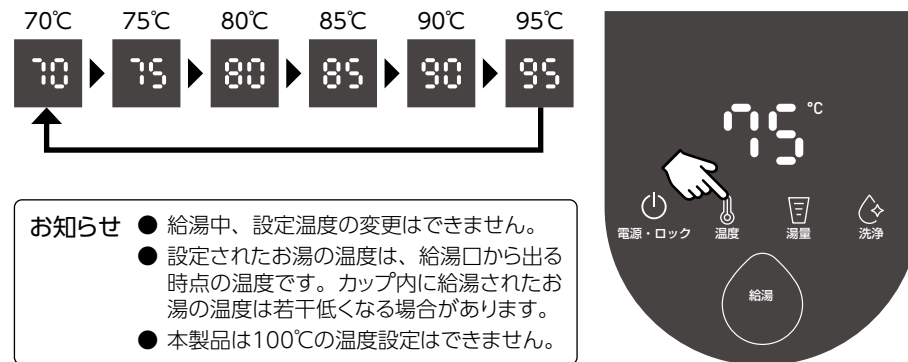
温度設定ボタン・湯量設定ボタン・洗浄ボタンが点灯し、お湯の温度の初期設定が表示されます。



- 30秒間以上操作がないと、ロックランプが点灯してロック状態になります。給湯するときは、電源・ロックボタンを長押ししてロックを解除してください。

## 3 温度設定ボタン（) を押して、お湯の温度を設定します。

温度設定ボタンを押すごとに、以下のように6段階に温度を設定できます。



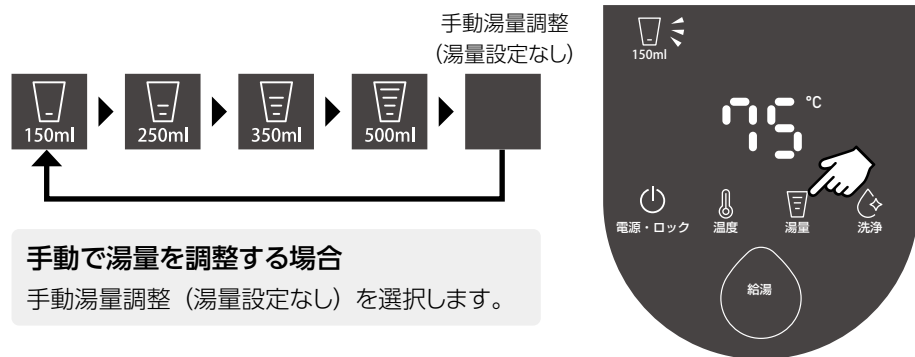
### お知らせ

- 給湯中、設定温度の変更はできません。
- 設定されたお湯の温度は、給湯口から出る時点の温度です。カップ内に給湯されたお湯の温度は若干低くなる場合があります。
- 本製品は100℃の温度設定はできません。

## 使い方 (続き)

### 4 湯量設定ボタン (☒) を押して、湯量を設定します。

湯量設定ボタンを押すごとに、以下のように湯量を設定できます。



#### 手動で湯量を調整する場合

手動湯量調整 (湯量設定なし) を選択します。

### 5 給湯ボタンを押して、給湯を開始します。

給湯口からお湯が出てきます。

設定した湯量が給湯されると、「ピー」と音が鳴り、自動的にお湯が止まります。

水滴が止まるまで数秒間待ってから、カップを取り出してください。

- 給湯を途中で中止するときは、給湯中に給湯ボタンまたは電源・ロックボタンを押します。



#### お知らせ

給湯開始時にヒーターが温まるまで数秒かかるため、給湯ボタンを押した直後は設定より低い温度でお湯が出る場合があります。

#### 手動湯量調整 (湯量設定なし) の場合

手動で給湯ボタンを押してお湯を止めます。

- 注意**
- 給湯中は、給湯口やカップの近く、お湯に手を近づけないでください。やけどの原因になります。
  - 給湯中に本体を動かしたり、水タンクを取り外したりしないでください。お湯が飛び散り、やけどをするおそれがあります。
  - 壁、家具などの近くで使用しないでください。お湯が飛び散るおそれがあります。
  - 給湯完了後も、給湯口から高温の水滴が出てくる場合があります。水滴が止まるまで数秒間待ってから、カップを取り出してください。

#### お知らせ

標高の高い場所では水の沸点が低いため、給湯時の蒸気が通常より多い可能性があります。

#### 水切れランプが点灯した場合

水タンクの水がなくなると、「ピー」と音が鳴って水切れランプが点灯し、運転が止まります。

使用を続ける場合は、水タンクに水を入れてください。



## 使い終わったら

### 1 電源プラグをコンセントから抜きます。

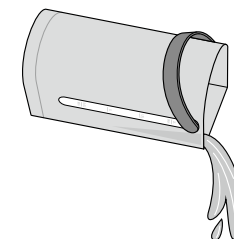
- 注意** 電源コードをひっかかないようご注意ください。本体が落下し、やけどやけがをするおそれがあります。

### 2 排水受け皿に残った排水を捨てます。

### 3 水タンクを本体から取り外し、空にして乾かします。

- 注意** 水タンクの水は毎日取り換えてください。

- お願い** 使用後は、水あかの付着を避けるため、水タンクを空にしてください。



# お手入れの方法

長期間清潔にご使用いただくためには、定期的にお手入れをしてください。

- 注意**
- 必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってからお手入れをしてください。
  - 本体は水に浸けないでください。

**お願い** お手入れ時に、研磨剤などを使用しないでください。

## 本体外側のお手入れ

本体が冷めるのを待ち、乾いたやわらかい布で拭いてください。がんこな汚れには、ぬらした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。

## トレイのお手入れ

中性洗剤でよく洗って、水ですすぎます。すすいだ後は、乾いたふきんなどでしっかりと拭いてください。

## 水あかがたまったときのお手入れ（内部洗浄）

本製品を長期間使用し、内部水路に水の石灰質がたまり、洗浄ランプが点灯して、ディスプレイに「00」と表示されます。

洗浄ランプは約200回給湯後に点灯します

点灯したら、本製品の内部洗浄を行ってください。

内部洗浄を行わない場合、本製品が通常使用できない状態になります。

- 内部洗浄は、クエン酸洗浄サイクルを1回、すすぎサイクルを3回、計4回の排水サイクルを行います。
- 市販のクエン酸洗浄剤が必要になります。別途お買い求めください。

- 注意** 内部洗浄を行うときは、洗浄プロセスが終わるまで製品から離れないでください。

### 強制内部洗浄モード

通常の使用時に洗浄ボタンを長押しすると、洗浄ランプが点灯していなくても内部洗浄ができます。



## 1 クエン酸洗浄サイクルを1回行います。

- ① 水タンクに残っている水を捨てます。
- ② 別の容器で、クエン酸洗浄剤と1リットルの水を混ぜ合わせます。  
クエン酸洗浄剤の用量などについては、洗浄剤の取扱説明書に従ってください。
- ③ 水タンクにクエン酸洗浄剤の混合液を入れて、ふたを閉めます。
- ④ 容量600ml以上の耐熱性容器（タンブラー、カップなど）を、トレイの上に置きます。
- ⑤ 電源・ロックボタンを長押しして、ロックを解除します。
- ⑥ 洗浄ランプが点灯している場合、洗浄ボタンを押すと、内部洗浄モードに入ります。  
(洗浄ランプが点灯していなくても、洗浄ボタンを長押しすると、洗浄モードに入ります。)  
ディスプレイに「70℃」と「00」が交互に表示されて「500ml」の湯量ランプが点灯します。
- ⑦ 給湯ボタンを押して、クエン酸洗浄サイクルを開始します。  
クエン酸洗浄サイクルが完了すると、「ピー」と音が鳴り、ディスプレイにすすぎサイクル回数「01」が表示されます。
- ⑧ カップを取り出し、排出された混合液を捨てます。
- ⑨ 水タンクに残っている混合液を捨てて、タンク内部を水洗いします。



**お知らせ** 洗浄サイクル中に給湯ボタンを押すと、サイクルが一時的に止まります。もう一度給湯ボタンを押すと、サイクルが再開されます。サイクルを再開する前にカップを取り出し、排出された混合液を捨ててください。なお、必ず水タンクに1Lラインまでの水を入れてください。

## 2 すすぎサイクルを3回行います。

- ① 水タンクに1Lラインまでの水を入れて、ふたを閉めます。
- ② 容量600ml以上の耐熱性容器（タンブラー、カップなど）を、トレイの上に置きます。
- ③ 給湯ボタンを押して、すすぎサイクルを開始します。  
すすぎサイクルが完了すると、「ピー」と音が鳴り、ディスプレイにサイクル回数を示す「02」が表示されます。  
※ 洗浄サイクル中に給湯ボタンを押すと、内部洗浄を中止できます。
- ④ カップを取り出し、排出された水を捨てます。
- ⑤ ①～④の手順を2回繰り返します。  
すすぎサイクルが完了するごとに、ディスプレイに表示されるサイクル回数が「01」→「02」→「03」と増えていきます。「03」が消えるまで、繰り返してください。  
内部洗浄が完了すると、洗浄ランプが消灯し、本製品が通常使用可能な状態になります。

**お知らせ** すすぎサイクル中に給湯ボタンを押すと、サイクルが一時的に止まります。もう一度給湯ボタンを押すと、サイクルが再開されます。サイクルを再開する前にカップを取り出し、排出されたお湯を捨ててください。なお、必ず水タンクに1Lラインまでの水を入れてください。



## 故障かなと思ったら

このようなとき	原因	対処方法
電源が入らない (操作パネルが点灯しない)	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていない。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
給湯できない	ロック状態になっている。	電源・ロックボタンを長押しして、ロックを解除してください。
	水タンクの水が不足している。	水タンクに600ml (Minライン) 以上の水を入れてください。
	本製品が24時間以上使われなかった。	内部排水を行ってください。 (→10ページ)
操作パネルが反応しない	操作パネルが濡れている。	乾いた布で操作パネルを軽く拭いてください。
お湯が熱くならない	お湯の設定温度が低すぎる。	より高い温度に設定してください。
	水タンク内の水温が低すぎる。	水タンク内の水を常温の水と入れ替えてください。
給湯時にお湯が飛び散る	給湯口とカップが離れすぎている。	カップの高さに合わせてトレイの位置を調整してください。

■ 下記のようなエラーコードが表示されたときは修理センターへご連絡ください。

エラーコード	原因	対処方法
E1	内部電気回路の故障。	使用を中止し、修理センターへご連絡ください。
E2	温度センサーの異常を検知。	
E3		
E4	水タンク内の水温が高すぎる (45℃以上)。	水タンク内の水を常温の水と入れ替えてください。水を入れ替えてもエラーコードが表示される場合は使用を中止し、修理センターへご連絡ください。
E5	給湯口から出るお湯の水温が高すぎる (105℃以上)。	
E6	内部の通信エラー。	使用を中止し、修理センターへご連絡ください。
E7	ポンプの故障。	
E8	ヒーターの故障。	

## 保管について

長期間使用しないときは、水タンクを空にして十分に乾燥させたあと、においがつかないように本製品をポリ袋などに入れて保管してください。

## 製品仕様

ティファール 瞬間湯沸かしケトル ヴィテス 2.0L		
定格電圧	100V	
定格周波数	50/60Hz	
定格消費電力	1300W	
サイズ (全体)	幅	約13cm
	高さ	約31cm
	奥行き	約32cm
質量 (全体)	約1890g	
電源コードの長さ	約1.3m	
最大使用水量 (タンク容量)	2000ml	


※ 仕様、デザイン、価格等は変更になることがありますのでご了承ください。

※ 本製品は日本国内のみで使用できます。

※ 標高の高い場所、厳寒地などでは所定の性能が発揮できなかつたり、吹きこぼれることがあります。こうした場所での使用はなるべくさけてください。

Made in China

**●長年ご使用の瞬間湯沸かしケトルの点検を!**



愛情点検

**こんな症状はありませんか?**

- 電源コードや電源プラグに損傷が見られる。
- ご使用中に電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。
- いつもより本体が異常に熱くなつたり、こげくさいにおいがする。
- 製品の一部に割れ、がたつき、ゆるみがある。
- その他の異常・故障がある。

**ご使用中止**

このような症状が見られるときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずグループセブジャパン修理センターに点検・修理をご相談ください。

### 株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様相談センター  **0570-077772**  
ナビダイヤル 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文センター  **0570-086072**  
ナビダイヤル 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。